



## 「豊ヶ丘図書館友の会」をみんなのものに！

会長 大橋慶一



### 場としての図書館

例にもれず、「豊ヶ丘図書館友の会」の活動もまた、新型コロナウイルス騒ぎで、小休止。

しかし、逆説的になるが、閉鎖されてみると、図書館の存在価値を再認識する機会にもなっていました。

人はそこで、関連する本を手にとって目次や前書きを拾い読みして、比較して、読む本を決めるのです。また、コンピュータ端末で検索することもあります。何よりも、静かに読む場所を提供してくれるのが、図書館なのです。

完全閉鎖の後、部分的に本の返却と予約だけは可能になりましたが、図書館の役割は、単に本の貸し借りだけでないことが、肌身をおして、わかりました。一部の役人が考えているように、本の ATM ではダメなのです。



新緑の豊ヶ丘図書館

さらに、ほかのひととの共通の関心から、コミュニケーションができ、あらたな知的興味がひろがってゆくのもまた、図書館のありがたさです。

一昨年、末、「豊ヶ丘図書館友の会」をたちあげようとしたのは、いつまでも使えることを確かにして、地域市民の繋がり、場所をめざそうという気持ちからでした。

### 参加理由トップ：施設の存続

会の方向を決めていこうとアンケートをお願いしました。次ページに挙げたように、友の会参加理由の第一が、施設の存続を求めてということからも確認できました。

さらに、参加したいこととしては、読書会、朗読会、読み聞かせ会、講演会、研究会など会員の集まりが圧倒的で、これからの方向として重要なことです。それに次いで、関係団体との懇談会や古本市を挙げられた会員もおられます。

### 自由記入の希望：子供も大切に

選択肢によるものに加えて、自由に希望を書いていただきました。そのうちのいくつかを挙げておきます。

「子供たちへの読み聞かせの会や、若い親向けに「子と絵本」などの研究発表の会を」：確かに、役員の平均年齢からいって、思いが十分及ばない分野です。心して、若い年代のことも考えられるリーダーを育てましょう。

## 会員へのアンケートの結果 (回答総数 36名)

あなたは友の会にどのような理由でご参加されましたか。	
ア 本を読むことが好きであり、多くの方々と読書を通じて交流したい。	19
イ 豊ヶ丘図書館が見直されると聞いたので、その存続を求めている。	29
ウ 知人から参加を勧められた。	14
エ その他	3

今後、あなたは友の会のどのような企画に参加したいとお考えですか。	
ア 読書会、朗読会、読み聞かせ会、感想の発表など	22
イ 講演会、研究会など	19
ウ 古本市、関係団体との懇談会など	12
エ 友の会だよりの発行、広報業務など	5
オ 図書館への提案、協働や図書館関係団体との連携・協力など	11
カ 友の会の運営に関する事務など	1
キ その他	4

図書館だよりについては、「希望者には有料でもカラーで」という要望に答えて、この号から会員へは、一部カラー印刷にしたものをお送りすることにしました。

「ビブリオバトルに関心がある」：私自身は、経験がありませんが、当会にも、また、東寺方図書館友の会にも、関心がある会員がおられるので、可能性を考えます。

「総会には講演会や来賓あいさつの代わりに、会員同士の意見交換の時間を」：総会はそのほど時間を取らないことが多いので、会員外の方にお話をさせていただいたのですが、会員がそれぞれ考えていることをしゃべり合う機会を多くしましょう。

### 図書館面積の半減：最重要課題

切迫している課題としては、昨年10月に終わった市民ワークショップの結果です。提案された試案で、削除になっているのは、「児童コーナー」と「2階の学習室・読書室」でした。

昨年10月、それらの維持を正式に当会から行政に申し入れをしました。4月25日に経過報告・検討会をするという返事でしたが、中止になったままです。



屋間放し飼いチャボ (一本杉公園、加藤邸)

近々、何か発表があると思いますが、我々の声を届け続けましょう。

### 図書館の外部委託：次の懸念

もう少し先のはなしですが、大きな懸念が一つあります。図書館業務の外部委託です。

中央図書館の新設に伴い、そこに職員と予算が必要になり、地域図書館への割り当ては必然的に削減されます。その結果、地域図書館業務は、市の職員でなく、企業などに下請けにだされる可能性が高いということです。

すでに、唐木田図書館は、業務委託になっています。つぎは、豊ヶ丘と東寺方です。

そのようなことに気をつけながら、当面は、友の会の活動を活発にして、図書館の存在意義を主張しましょう。

### 「新書探検隊」 結成式

「新書探検」読書会の説明・準備の会  
2020年7月18日(土) 10:00~11:30  
豊ヶ丘地区市民ホール第一会議室

#### 読書会がはじまります。

**要予約** 出席予定の方は、予めご一報ください。施設から、連絡事項がございます。

連絡先：大橋慶一 yoshi@ohashi.name  
042-202-0246

# 「多摩市で生まれ育って…」

中野百合子

多摩市で生まれ育ち、近くに図書館があったこと、本好きな母に育てられたことで、本に囲まれた幸せな子ども時代を過ごしました。図書館と本に関する一番最初の思い出は、母に連れて行ってもらった移動図書館やまばと号と、幼稚園で配られていた月刊「こどものとも」で、お気に入りの絵本は「とこちゃんはどこ」と「せんたくかあちゃん」。姉と一緒に何度も読んで楽しみました。

小学校時代は豊ヶ丘図書館に通い、その後は少し図書館から離れていましたが、大学卒業後に語学留学したロンドンで再び公共図書館と出会い、老若男女に利用され活気あふれる図書館を見て、これを一生の仕事としたいと考えるようになりました。帰国後、司書資格取得を目指しながら調布市立図書館で嘱託職員として働きはじめ、図書館は市民に支えられて生かされているものだ学びました。分館では職員と利用者の距離が近く、お互いに顔や名前を覚え、司書の方たちは利用者の興味やニーズに合わせ、関連の本を薦めたり、雑誌記事を取り置いたりしていました。

常連さんたちは私が司書を目指していると知ると、よい司書になるようにといつも励ましてくださいました。また、これまで委託の問題がでた際には、市民の反対で乗り切ってきたと聞きました。

どうしたらこのように図書館を利用する市民が育つのか、またその市民の信頼に応えられるサービスとは何かと考える中、児童奉仕に興味をもち、(公財)東京子ども図書館で一年間の研修を受けました。そこでは、高い理念と志をもって仕事をする事、理念を実際のサービスに生かすこと、そのためにまず子どもと本を知ることなど、大切なことを学びました。この二つの組織で働けたことは、司書の専門性を理解するため、そして、司書の専門性と社会における図書館の役割を理解する上で、とても幸運なことだったと思います。



ロンドン連合大学UCL医学部  
図書館はこの地下にある

その後、英国の大学院で図書館学を学び、縁があってまたロンドンに暮らすことになり、今はこちらの大学図書館で働いています。とはいえ、やはり一番の興味は公共図書館と児童サービスで、近所でも旅先でも歩いていて公共図書館を見つけると、必ず入って児童室を見てみます。色々なところで素敵な図書館を見つけると、とても嬉しい気持ちになります。

数年前、以前文庫をされていたことのある方がお孫さんのために集めたという本を沢山お譲りくださり、これを機に本のよここびを子どもたちとまた分かち合いたい、こちらで文庫を開く準備を始めました。

コロナ禍で在宅時間が増える中、懐かしい児童書をあれこれ読み返しています。

また、なんとか活動を続けようとオンラインで集まっているイギリスの文庫を(オンラインで)訪ね、絵本の読み聞かせをしています。自分が子どもの頃に周りの大人が与えてくれた本との幸せな出会いを、今度は自分が子どもたちに手渡していくことができたらと願っています。



テムズ川に流れ込む  
リージェント運河

中野百合子さんは、会員の中野雅江さんのお嬢さんです。いまは、ロンドン大学連合のひとつUCL (University College London) の図書館の司書をされています。UCLは、初代内閣総理大臣伊藤博文や、五代友厚、森有礼など明治維新の時代の日本人が学び、また、夏目漱石も講義を受けていたという日本にもつながりのある大学だそうです。チャールズ・ダーウィンが「種の起源」を発表したところでもあります。— 編集部



## 多摩、点描

春、大地が、日差しと穏やかな風で目覚め、呼び起される季節…。散策路の植え込みで蔭の臺、土筆が盛り上がり例年より温暖の冬と謂われた公園から冬鴨たちが子育ての地へ向かって飛び立った…。

静寂化した池面が広がり、庭先の小鳥たちも群を解き、伴侶を求め、個別の生態系を組む。時には争いながら、個々のテリトリーを誇示する囀りが木々の間からこだまする。

乞田川を桜が華やかに蔽い、萌える若葉が丘陵のアウトラインを、日毎に景観変化させる。生けるものの弾ける様が、軟弱な私たちの心を揺さぶり、希望を呼び起こさせてくれる。多摩の自然が住民にとってかけがえのない活気と勇気を確認させてくれる時である。

世情は疫病で厳しい状態だが、このような危機も太古の歴史で乗り越えた生物たちの営みは高智に熟していくことを証明してくれるに違いない。

今、桜満開の多摩の里はこれから色濃い活性の場となる。そして、すでに、八十八夜は過ぎた。

夏、中央公園でホトトギスの初音・6/4 朝9:00。

夏鳥の渡りは夜間が多く、月の光の中を鳴き声を上げながら飛ぶ様は風情があってよいものだが、多摩公園で一休みか、この後、秩父、奥多摩、富士山麓を目指すのか夏も近い。



# 「親子で読む探検文学の楽しみ」(1)

会員 塚本正司

皆さん、図書館を利用できないのは本当につらいことでしたね。そこでその分を取り戻すために、読めば必ず感動する探検文学の作品をご紹介します。ぜひ、お子さんやお孫さんにも伝え、また読み聴かせなどをなさってみてください。共感まちがいなしです。さて今回は、北極と南極を舞台とする驚くべき著作です。

## 『極地—フラム号北極漂流記』（フリチョフ・ナンセン、加納一郎訳、中央公論社）

ナンセンは、北極海には海流があり氷盤は移動しているので、それに乗れば北極点に近づけるはずと考えて、隆起し圧迫してくる氷群に挟まれてしまっても、その上に乗りあげて破壊をまぬがれる丸い船底のフラム号を建造してノルウェーを出発します（1893年6月）。

しかし、船は漂流するばかりで目標には思うように近づけず、13名の乗組員ともども越冬をふくめて船上生活に時日を費やします。1年半ほど経過し、ナンセンと僚友のヨハンセンの二人だけが船を離れて、犬ゾリとカヤックで北極点を目指します（1895年1月）。その4月には極点まであと440kmほどのあたりに達したものの、目的を果たせず帰路につきまします。途中でまた越冬して、フランツ・ヨゼフ・ランドのフローラ岬に至った（1896年6月）のちに、偶然な助けをえて母国に帰還しました。フラム号自体もなんとその三週間ほど後に帰ってきて、この大探検はノルウェー国民の大歓喜に迎えられたのでした。

## 『世界最悪の旅』（アプスリー・チェリー＝ガラード、加納一郎訳、河出書房）

英国のロバート・スコット隊が1911~12年にかけて南極点到達をめざした際の記録で、隊員の後方支援要員だったガラードが、スコットほかの日記などから叙述したものです。スコット隊とノルウェーのロアール・アムンセン隊の2隊が同時に極点をめざしたことで悲劇がうまれました。

スコット隊は1911年1月2日にロス海マクマード湾のロス島に上陸し基地を建設、同月14日にはアムンセン隊もロス海北東部のクジラ湾から上陸しフラムハイム基地を建設します。越冬を終えたスコット隊は10月になってまず雪上車2台が先発、つづいて馬ぞり本隊が11月1日にエヴァンス岬（ロス棚氷）から南極点に向け出発します。アムンセン隊はこれに先立つ10月19日に4台の犬ぞりで出発しています。

ところが、スコット隊では1週間足らずで雪上車のエンジンが故障し修理不能になり、また、主力の馬も寒さなどで次々と失ってしまい、食

糧や燃料デポの配備と進行に支障をきたします。かたやアムンセン隊は、好天にも恵まれて距離を伸ばします。そして、12月14日に人類初の南極点到達を果たし、帰路も順調で翌年の1月25日に一人の犠牲者も出さず基地に帰還します。

いっぽうスコット隊は、1月17日の夕方に南極点に到達したものの、アムンセン隊に遅れること約1ヶ月も経過していました。帰路はこの時期としては想定外の荒天が続き、途上2人の隊員を失い、残る3名は3月21日になって食糧のデポまであと20kmの所に至ります。しかし、猛吹雪は止むことなくその先をたどることができず、スコットは3月29日付の日記と遺書に隊員の不屈の精神と働きを称える書き置きをし、他の2人とともに息絶えます。その状況は読む者の涙を誘います。

## 『エンデュアランス号漂流』（アルフレッド・ランシング、山本光伸訳、新潮社）

スコットの惜念を晴らすべくアーネスト・シヤクルトンが率いて南極大陸横断をめざした英国探検隊の1年半（1914年12月~16年5月）にわたる苦闘の記録です。

南米大陸の東南海にあるサウスジョージア島を出発したエンデュアランス号は、ウェッデル海を大陸に向けて進みますが次第に海氷に取り囲まれ、やがて盛り上がる氷に圧迫されて船は傾き破壊され沈没してしまいます（1915年11月）。食糧やテント、装備や犬ぞり、三艘のボートなどを船から確保した隊員27名は、氷盤の上でキャンプ生活を始めます。

夏が過ぎ（南半球の）冬がせまる4月になってやっと密氷帯から流氷帯にいたり、今度はボートに分乗して南極半島地先をめざして漕ぎすすみます。荒れる海をいく恐怖と緊張で一時も気の休まることがないその日々は、迫真のすさまじさです。ようやく近づいた絶海の孤島のわずかな浜になんとか接岸し、しばしの休息をえた後にシヤクルトン以下の4名が、彼らの出発地であり捕鯨基地があるサウスジョージア島へ、救助を求めるための航海にボートで出発します。20日間の苦難の末、なんとかたどり着きます。

孤島に残った乗組員全員が生きて救助されたのは、さらにその約3カ月半後（16年8月末）になってのことでした。漂流にとって好都合な風や海氷（盤）の亀裂、食糧とするアザラシやペンギンの捕獲や途切れる飲み水、探し求める島影などへの乗組員の期待と失望、それらの苦悩と喜びが描かれていて、彼らの生命をかけたぎりぎりの行動と行為に感動します。

# 会員のページ



センダンの木花：聖ヶ丘公園

ユニークで明るい豊ヶ丘図書館  
近未来のかたち

## 1階

1. エントランスに文化発信の大切なスペース：両サイドの壁面は美術展やイベントのポスターを貼ったり、地域の人たちの写真や絵画などの作品発表の場とする。
2. 親子読書室（通称ピョピョランド）赤ちゃん用ベッド1台、3人掛用ソファ1台を置き、靴を脱いでも上がれるように、カーペットを敷き、パーティションで仕切る。
3. 一般閲覧室
  - (1) 窓際は机と椅子をセットして外を向いて読書する。
  - (2) 一人用の椅子は同じものではなく形もデザインも異なったものを用意して、好きな椅子で好きな場所で読書する。
  - (3) オープンスペースで照明を明るく。
  - (4) 働く人たち：豊ヶ丘図書館で働いていたことが生涯の誇りに思えるような図書館でありたい。

☆ 生き生きと明るく、そして謙虚に☆

2階 多目的スペースとして利用する。今回、貴重な改築の機会を得て、新しいビジョンのもと豊ヶ丘図書館が生まれ変われることを願って。

## 入会案内

- 入会のお申し込みは  
豊ヶ丘図書館 各種チラシラック  
《受付》申込書に記入して下記にFAXしてください。
- 会費 年500円（18歳以上）  
豊ヶ丘図書館友の会（大橋慶一 会長）  
メール yoshi@ohashi.name  
または、安室（あづち）君子（副会長）  
電話 FAX 042-373-8258

## 倉橋御代

多摩市にやって来たのは1996年3月。豊ヶ丘北公園を背に、眼下に広がる自然林や貝取山、遠くにはよこやま道が通る丘陵の連なりが刻々と春の色に染まって、息をのむ美しさでした。

なんて素敵なところなのだろうと思った矢先、目の前に高層建築の計画があることを知りました。地域住民や緑を守る団体などが反対の声を上げていて、私も引っ越してすぐにその活動に参加し、皆の力で自然林の破壊を食い止めることが出来ました。

その後、親の介護のために10年近く多摩を離れましたが、2013年に、大好きな多摩に戻ってきました。今度は、諏訪の新しく生まれ変わった団地です。

そして、豊ヶ丘時代のお仲間誘われて友の会にいれて頂く事になりました。本が好き、図書館が好き、そして昨年観た「ニューヨーク公立図書館」に心動かされ、この自然豊かな多摩と図書館にますます愛を感じている私です。

## 編集後記

新型コロナウイルス騒動の中、春夏合併号ながら、「友の会だより」第5号発行まで、到達できた。編集は1～4号の萩原に代って、この号から、大橋が担当することになった。ページデザインは、相川。原稿の整理や校正は、安室、萩原が当たっている。次号には、会員の声をもっと載せたいので、ご協力の程を。

—大橋記